資 料 提 供

令和６年 11 月 27 日

茨城県土木部都市局建指導課
担当：課長補佐（技術総括）箕輪
直通：029－301－4716

応急危険度判定に係る判定コーディネーター訓練を行います！

１．判定コーディネーター訓練について

大規模地震発生後の被災建築物に関する**応急危険度判定活動において、中心的役割を担う判定コーディネーターの新規養成及び技術向上のための訓練**を下記のとおり行います。今回は新たな取り組みとして、発災後、速やかに被害状況を把握することが出来る**ドローン技術のデモンストレーションを行います（午後１時から約 10～15 分程度）**ので、**ぜひ取材へお越しいただきますようお願いいたします。**

訓練は、桜川市内での被災を仮定し、「事前の判定計画の検討」、「地震発生後の行動」、「判定実施班の設置」、「判定士の受入れ」等の検討課題について、**図上シミュレーション演習**により実施します。（詳細は、別添「実施要領」を参照）

○開催日時：令和６年 11 月 29 日（金）午前 10 時 30 分から午後４時 30 分（予定）
○会　　場：桜川市大和ふれあいセンターシトラス　１階　ホール
（桜川市羽田 989 番地 1）
○参 加 者：26 名（市町村、県及び民間の応急危険度判定士 等）

＜判定コーディネーターとは？＞

判定士の受入準備、判定エリアの決定、判定業務の指示、判定資機材の配付、判定結果の取りまとめ等、指揮・監督を行い、応急危険度判定実施における中心的役割を担います。

※茨城県応急危険度判定コーディネーター数：736 名（令和６年４月現在）

＜応急危険度判定＞

余震等による被災建築物の倒壊、部材の落下等から生じる二次災害を防止し、住民の安全の確保を図るため、応急危険度判定士が建築物の被害の状況を調査し、余震等による二次災害の危険の程度（調査済、要注意、危険）の判定と表示を行います。

＜図上シミュレーション演習＞

災害図上訓練＝DIG（Disaster：災害、Imagination：想像、Game：ゲーム）と呼ばれる、地図を囲んで対応策を考える防災訓練の一種。

令和５年度　訓練風景（石岡市）

２．ドローンによる被災状況調査

ドローンは、地震等の災害が起きた時、地上からは調べることができない建築物や道路などの被害状況を把握することができます。当日は、災害時の活用方法をイメージして頂くため、市内上空の飛行及び空撮を実施します。（荒天時中止）
（協力：ＤＳＩ　ドローンスクール茨城）

（イメージ）市内を空撮中のドローン

応急危険度判定に係る判定コーディネーター訓練　実施要領

茨城県土木部都市局建築指導課

１．目的

この訓練は、今後発生する恐れのある大規模地震に備え、応急危険度判定体制の整備を図るため、地震災害発生時に応急危険度判定士を取りまとめる役割を担う行政職員等　（判定コーディネーター）を養成することを目的とする。

具体的には、判定コーディネーターが、災害図上訓練を通して、地震災害発生時の判定活動に至る流れと各々の役割分担等を体系的に習得することにより、応急危険度判定活動に係る体制の充実強化を図るものである。

２．主催等

【主　催】茨城県、桜川市、茨城県建築防災推進連絡協議会、茨城県特定行政庁連絡協議会
【協　力】(一社)茨城県建築士会

３．開催日

令和６年 11 月 29 日（金）

４．開催場所

桜川市大和ふれあいセンターシトラス　（桜川市羽田 989 番地 1）

５．参加者

５０名程度
（県・市町村の行政職員／民間の応急危険度判定士）

６．スケジュール（※今後打合せにより決定）

10:00	受付開始
10:30～10:35	開会・挨拶
10:35～11:20	判定実施本部及び判定コーディネーターの役割について
11:20～11:30	災害図上訓練について（訓練に関する説明）
11:30～12:00	災害図上訓練の実施
12:00～13:00	休憩
13:00～16:00	災害図上訓練の実施
16:00～16:30	成果発表・検証・講評
16:30	閉会

７．災害図上訓練について

災害図上訓練とは、「DIG（Disaster（災害）、Imagination（想像）、Game（ゲーム））」と呼ばれ、参加者が地図を囲みながらゲーム感覚で災害時の対応策を考える防災訓練の一つである。

＊《災害図上訓練のフロー》参照

８．その他

関係機関と連携し、ドローンを活用した市内上空の撮影を訓練前と訓練当日に行う。撮影した映像・画像を参加者に共有しながら訓練を実施する。

《災害図上訓練のフロー》

グループ分け	１グループ１０名程度が適当。グループメンバーが決まったら、リーダーや記録係を決める。
↓	
雰囲気づくり	参加者は名札をつけ、自己紹介などにより議論しやすい雰囲気づくりをする。防災活動歴や被災体験談などを交えても良い。
↓	
参加者の立場の明確化と被害想定の説明	参加者がどういった立場で、どのような災害に立ち向かうのか、その役割を確認する。参加者の立場は、訓練のテーマに応じて意図的に設定しても良い。 また、提示する被害想定は、詳細である必要はないが、資料を調べてある程度現実的なものを用意する。
↓	
地図への書き込み	用意された地図を畳１枚分に繋ぎ合わせる。（予め準備する。） テーマに応じて様々な防災関係条件を書き込む。 ① 交通施設（特に道路）、河川等の線状のもの ② 役所、病院、消防署、公園（避難地）等の防災施設 ③ 危険な場所 ④ 住宅密集地域、老朽化した住宅が多い地域 ⑤ 災害弱者が多く存在する地域 ⑥ 被害想定（ハザード）、表層地質図など （注１） 色の使い方は一定のルールがあった方が良い。 （注２） 広い場所は外周を囲む。 （注３） 特に重要な場所は名称等を記載する。 （注４） 押しピンを使って立体的に表示しても良い。 （注５） 方位や表示凡例を記録する。 （注６） 透明シートを複数利用すると多くの条件が書き込み可。 （注７） 書き込みは全員で行う。テーブルの上に乗っても構わない。書き込みしながら状況を整理する。 （注８） 参加者は想像力を膨らませて災害時の対策や事前の対策を考える。
↓	
グループ討議	地図を見ながらテーマに応じた意見交換を行う。参加者自らが課題を認識し、自然に議論が深まっていくのが理想的な姿であるが、初期の段階では具体的な課題を提示し、その解決策について考えてもらう。
↓	
成果発表・講評	グループごとに話し合われた内容について発表する。様々な意見交換により情報が共有され、参加者の考えがより深まる。 進行役やアドバイスができる立場の人が、成果発表の内容や、参加者の取り組み等について講評する。

《災害図上訓練の特徴》

○ 参加者が大きな地図を囲み、議論を交わしながら訓練を進行する。
○ 地図に様々な情報を書き込みながら、参加者が防災マップを作成する。
○ 決まったルールがなく簡単に訓練を行うことが可能であり、経費を節約できる。
○ 日頃気付かなかった防災対策等が明らかになり、防災意識が向上する。

《これまでの訓練状況》

～過去 18 回実施～

第１回　H16【笠間市】 H17.1.17　全参加者：102名（訓練参加者：60名／見学者：24名／事務局：18名）
第２回　H17【笠間市】 H17.10.21　全参加者： 84名（訓練参加者：61名／見学者： 7名／事務局：16名）
第３回　H18【水戸市】 H19.1.7　全参加者： 72名（訓練参加者：52名／見学者： 9名／事務局：11名）
第４回　H19【水戸市】 H20.2.29　全参加者： 52名（訓練参加者：37名／見学者： 2名／事務局：13名）
第５回　H20【つくば市】 H21.1.15　全参加者： 56名（訓練参加者：43名／見学者： 3名／事務局：10名）
第６回　H21【日立市】 H22.3.23　全参加者： 59名（訓練参加者：39名／見学者： 3名／事務局：17名）
第７回　H22【ひたちなか市】 H22.8.26　全参加者： 61名（訓練参加者：44名／見学者： 2名／事務局：15名）
第８回　H23【笠間市】 H23.8.26　全参加者： 73名（訓練参加者：48名／見学者：10名／事務局：15名）
第９回　H24【つくば市】 H24.8.28　全参加者： 70名（訓練参加者：54名／見学者： 2名／事務局：14名）
第10回　H25【ひたちなか市】 H25.8.27　全参加者： 68名（訓練参加者：52名／事務局：16名）
第11回　H26【水戸市】 H27.3.19　全参加者： 57名（訓練参加者：49名／事務局： 8名）
第12回　H27【笠間市】 H28.3.18　全参加者： 57名（訓練参加者：46名／事務局： 7名）
第13回　H28【ひたちなか市】 H28.11.30　全参加者： 53名（訓練参加者：44名／事務局： 9名）
第14回　H29【日立市】 H29.11.29　全参加者： 56名（訓練参加者：48名／事務局： 8名）
第15回　H30【坂東市】 H30.10.30　全参加者： 70名（訓練参加者：63名／事務局： 7名）
第16回　R元　【水戸市】 R2.1.24　全参加者： 75名（訓練参加者：68名／事務局： 7名）
第17回　R2　【石岡市】 県内緊急事態宣言発令により web 開催に変更（参加者：18名）
第18回　R3　【土浦市】新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン開催に変更
（参加者：44名）
第19回　R4　【笠間市】 R5.1.13　全参加者： 47名（訓練参加者：41名／事務局： 6名）
第20回　R5　【石岡市】 R5.11.28　全参加者：42名 （訓練参加者：30名/見学者：7名/事務局：5名）

●令和５年度訓練の様子